

特集

未来に残したい 鉄道のある風景

新型コロナウイルスワクチンのお知らせ
令和4年度弘前市奨学生を募集
11月9日は「119番の日」



今号の表紙

りんご畠鉄道

弘南鉄道大鰐線 津軽大沢駅付近
からの眺め。一面に広がるりんご畠
や田んぼの傍を、列車がのんびりと
走り抜けるノスタルジックな光景は、
ずっと残したい津軽の原風景です。



「広報ひろさき」録音版の配布を希望する人は
障がい福祉課 (☎ 40-7036) まで。



「広報ひろさき」をアプリで読みます！
「マチイロ」で検索 (iOS・Android 対応)



■問い合わせ先 地域交通課 (☎ 35-1124)

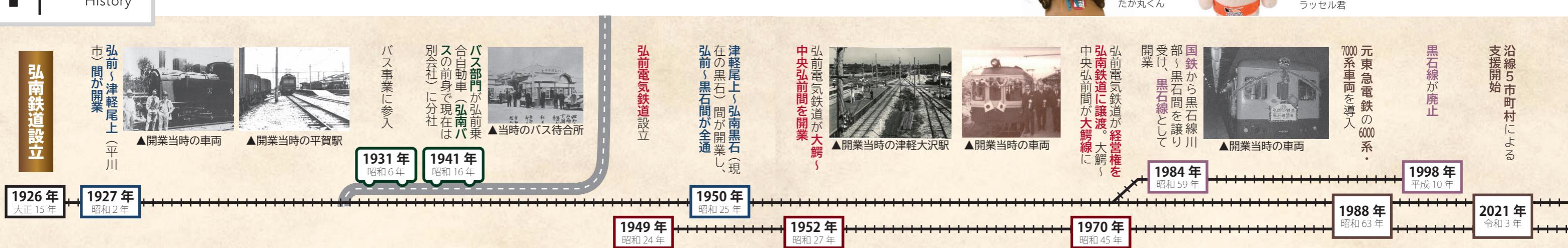
地域交通の一つである弘南鉄道。弘南線・大鰐線の2つの路線が津軽地域の人々を運び、学生の通学や地域経済を支える一方、経営難という重大な問題を抱え、数年後には大鰐線が廃線になる可能性があります。

両路線の存続のため、市は沿線の市町村や弘南鉄道と連携して、さまざまな取り組みを行っています。

今回は、弘南鉄道の現状を見つめ、魅力を改めて再発見しながら、これから弘南鉄道のあり方を考えます。

1 | 歷史

History



自治体による支援

少子化や過疎化による利用者減少や老朽化に伴う修繕費の増大のため、弘南鉄道に経営難の波が迫っています。特に大鰐線は危機的な状況です。

沿線 5 市町村（弘前市・黒石市・平川市・大鰐町・田舎館村）は、令和元年度から両線の赤字補填と長期的な支援計画を検討し、令和 3 年度から 10 年間、合計約 9 億 5,000 万円を支援する計画を公表しました。

大鰐線を取り巻く状況

弘南線と大鰐線では利用状況が異なります。開業当初から赤字が続く大鰐線は、弘南線に比べて路線の距離や平均乗車距離が短いことや、利用者数が少なく季節や曜日による変動も大きいことから、輸送効率が低い路線です。少子化による沿線の学校の定数削減や閉校も、利用者減

事業費	使い道	支援額
支援事業費 内訳	安全輸送対策事業費	設備修繕など
	利用促進事業費	定期券の割引事業など
	赤字補填	大鰐線への補填



これからもみんなを
乗せてずっと走り続け
たいな～！

弘南鉄道イメージキャラクター ラッヤル君

5 | 声

Voice

普段利用している人や、これまでの取り組みに参加した人の声を紹介します。
あなたにとって、弘南鉄道はどんな存在ですか？



高村絵里加さん (左)・美羽さん (右)

子どもの通学に大鰐線を利用しています。バスの日もありますが、鉄道は雪の日も大きな遅延が少なく、春～秋の時期は自転車を持ち込めるので便利ですね。

桜ミクのラッピング列車や金魚ねぶた列車、昔の弘前の風景を紹介したパネル展など、地域色が豊かな企画を親子でよく楽しんでいます。子どもが弘前の魅力を知り、地元を愛する気持ちが育つ機会にもなっていると思います。

駅員さんは子どもに「大きくなったね」などと声を掛けてくれる、親しみのある存在です。バス通学が続いた時は寂しく感じることも…。そんな思い入れのある鉄道なので、廃線になつたら悲しいです。存続できるよう願っています。

弘前実業高校 2年 千葉虹実さん

黒石市からの通学のために弘南線を利用しています。通学中は音楽を聴くなど、リラックスできるひと時。車窓からの自然の風景が好きです。

弘南鉄道は以前より利用者が減り、経営が大変そうだと日頃から感じています。

現在、学校の授業の一環で弘南鉄道PRのための商品開発企画に取り組んでいるので、しっかり盛り上げて利用者を増やしたいです。来年2月に予定している開発商品の販売に向け、幅広い世代に届くような情報を発信して、弘南鉄道を応援できればと思います。

弘前実業高校のほか、沿線の学校などによる弘南鉄道PR活動をTwitter・Instagramでご覧になれます。
ハッシュタグ「#弘南鉄道しか勝たん」で検索を♪



文京小学校
中村真吾 教務主任

当校は大鰐線の沿線にあるということで、市の呼びかけで大鰐線で今年運行された「子ども金魚ねぶた列車」の制作に参加しました。今回制作したのは、見る人を楽しませたいと、子どもたちが自分なりの工夫を凝らしたオリジナル金魚ねぶたです。初めての作業に緊張気味でしたが、筆の運びや口ウの加減に苦労しながらも、楽しんで取り組みました。



思い思いの
金魚ねぶた
を制作する
子どもたち

完成後、実際に列車に飾られた様子を見て、可愛らしく風情のある金魚ねぶたの良さを改めて感じました。子どもたちにとっても、ねぶた文化の良さを実感するとともに、自分たちの活動が地域振興の役に立つことを肌で感じることができたようです。

子どもたちは普段鉄道を利用する機会が少ないようですが、今回をきっかけに久しぶりに親子で電車に乗ることができてよかったです」という保護者の声もありました。

大変有意義な取り組みだと思うので、機会があれば、今後も弘南鉄道と連携した取り組みを継続していきたいですね。



あなたの声を聞かせてください

弘南鉄道の利用者を増やすための取り組みに関するご意見やアイデアを募集します。

どんなことでも構いませんので、皆さんのお声をぜひお寄せください。

▼募集期限 11月30日(火)

▼応募方法 郵送、ファクスまたはEメールでお送りください。様式は問いません。

■応募先 地域交通課(〒036-8551、上銀町1の1、ファクス35-3765、Eメール chiikikoutsuu@city.hirosaki.lg.jp)



▲Eメールは
市ホームページ
(QRコード)か
らも送れます。

みんなで作る未来へのレール

弘南鉄道は地域を結ぶ大切な交通手段であると同時に、古い車両や修理技術、レトロな駅舎など、歴史的価値を持つ財産・観光資源であり、地域の人の暮らしや文化を豊かにする場でもあります。

弘南鉄道の未来はあなたが関心を持つことから始まります。日常的に乗車するのは難しくても、休日に小旅行する、イベント列車に乗車する、グッズを購入するなど、楽しく支援できる方法はいくつもあります。みんなでできることを積み重ねて、弘南鉄道の明るい未来に通じるレールを作っていくましょう。

(おわり)